

第 69 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた  
アルテリア・ネットワークス株式会社への追加質問及び回答

問 指定設備設置事業者が、希望する接続事業者との間でビル&キープ方式を選択できるようにする場合において、貴社資料で示されている「音声通信サービス利用者および同サービスの提供事業者の全体利益」に叶わないおそれとして、どのようなことが考えられるか。

(佐藤構成員)

(アルテリア・ネットワークス株式会社回答)

- 着信事業者側のネットワークコストを負担しない仕組みであるビル&キープ方式が、一部の事業者、特に指定設備設置事業者のような市場支配力のある事業者において一度導入されると、いずれデファクトスタンダード化され、導入を望まない事業者としても拒否できない仕組みとして認識されていくことが危惧されます。このような状況においては、小規模かつ着信トラフィックの多い事業者が、ネットワークコスト負担増を強いられることとなり、利用者料金の高騰、または事業からの撤退を余儀なくされるなど、利用者及び市場全体にとって不利益な事態が生じる可能性があることを懸念事項と考えております。

以上